

令和七年三月二十五日（火曜日）

正午開議

出席委員

委員長 浜田 靖一君

理事 村井 英樹君 理事 田野瀬太道君

理事 井出 庸生君 理事 井野 俊郎君

理事 青柳陽一郎君 理事 道下 大樹君

理事 吉田はるみ君 理事 中司 宏君

理事 村岡 敏英君

上田 英俊君 鈴木 隼人君

高木 啓君 深澤 陽一君

三谷 英弘君 森下 千里君

五十嵐えり君 伊藤 俊輔君

高松 智之君 長友よしひろ君

金村 龍那君 白木 秀剛君

吉田 宣弘君 山川 仁君

塩川 鉄也君

議長 額賀福志郎君

副議長 玄葉光一郎君

事務総長 築山 信彦君

本日の会議に付した案件

議員赤嶺政賢君、同阿部知子君、同梶山弘志君、同松原仁君、同大島敦君、同平井卓也君、同松本剛明君、同長妻昭君、同金子恭之君、同塩川鉄也君、同山井和則君、同松野博一君、同細野豪志君及び同小渕優子君永年在職表彰の件

国家公務員任命につき同意を求める件

本会議における議案の趣旨説明聴取の件

本日の本会議の議事等に関する件

-----◇-----

○浜田委員長 これより会議を開きます。

まず、永年在職議員の表彰の件についてであります、議員赤嶺政賢君、阿部知子君、梶山弘志君、松原仁君、大島敦君、平井卓也君、松本剛明君、長妻昭君、金子恭之君、塩川鉄也君、山井和則君、松野博一君、細野豪志君及び小渕優子君は、今月でそれぞれ在職二十五年に達せられましたので、先例により、院議をもって表彰することになります。

十四名の方々の表彰文は、前例に従って作成したお手元に配付の案文のとおりとし、表彰決議は、本日の本会議において行うことに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○浜田委員長 御異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

議員赤嶺政賢君は衆議院議員に当選すること九回在職二十五年に及び常に憲政のために尽くし民意の伸張に努められた

よって衆議院は君が永年の功労を多とし特に院議をもってこれを表彰する

.....

議員阿部知子君は衆議院議員に当選すること九回在職二十五年に及び常に憲政のために尽くし民意の伸張に努められた

よって衆議院は君が永年の功労を多とし特に院議をもってこれを表彰する

.....

議員梶山弘志君は衆議院議員に当選すること九回在職二十五年に及び常に憲政のために尽くし民意の伸張に努められた

よって衆議院は君が永年の功労を多とし特に院議をもってこれを表彰する

.....

議員松原仁君は衆議院議員に当選すること九回在職二十五年に及び常に憲政のために尽くし民意の伸張に努められた

よって衆議院は君が永年の功労を多とし特に院議をもってこれを表彰する

.....

議員大島敦君は衆議院議員に当選すること九回在職二十五年に及び常に憲政のために尽くし民意の伸張に努められた

よって衆議院は君が永年の功労を多とし特に院議をもってこれを表彰する

.....

議員平井卓也君は衆議院議員に当選すること九回在職二十五年に及び常に憲政のために尽くし民意の伸張に努められた

よって衆議院は君が永年の功労を多とし特に院議をもってこれを表彰する

.....

議員松本剛明君は衆議院議員に当選すること九回在職二十五年に及び常に憲政のために尽くし民意の伸張に努められた

よって衆議院は君が永年の功労を多とし特に院議をもってこれを表彰する

.....

議員長妻昭君は衆議院議員に当選すること九回在職二十五年に及び常に憲政のために尽くし民意の伸張に努められた

よって衆議院は君が永年の功労を多とし特に院議をもってこれを表彰する

.....

議員金子恭之君は衆議院議員に当選すること九回在職二十五年に及び常に憲政のために尽くし民意の伸張に努められた

よって衆議院は君が永年の功労を多とし特に院議をもってこれを表彰する

.....

議員塩川鉄也君は衆議院議員に当選すること九回在職二十五年に及び常に憲政のために尽くし民意の伸張に努められた

よって衆議院は君が永年の功労を多とし特に院議をもってこれを表彰する

.....

議員山井和則君は衆議院議員に当選すること九回在職二十五年に及び常に憲政のために尽くし民意の伸張に努められた

よって衆議院は君が永年の功労を多とし特に院議をもってこれを表彰する

.....

議員松野博一君は衆議院議員に当選すること九回在職二十五年に及び常に憲政のために尽くし民意の伸張に努められた

よって衆議院は君が永年の功労を多とし特に院議をもってこれを表彰する

.....
議員細野豪志君は衆議院議員に当選すること九回在職二十五年に及び常に憲政のために尽くし民意の伸張に努められた

よって衆議院は君が永年の功労を多とし特に院議をもってこれを表彰する

.....
議員小渕優子君は衆議院議員に当選すること九回在職二十五年に及び常に憲政のために尽くし民意の伸張に努められた

よって衆議院は君が永年の功労を多とし特に院議をもってこれを表彰する

○浜田委員長 なお、本会議における表彰次第につきましては、まず議長発議をもって表彰決議を行い、次に議長が表彰文を順次朗読されます。次いで、表彰を受けられた方々に登壇願った後、代表して赤嶺政賢君から謝辞が述べられます。

他の方々の謝辞につきましては、会議録に掲載することになっております。

<山井和則 謝辞>

『この度、衆議院議員在職 25 年の表彰を賜りました。

私が衆議院議員に初当選させて頂いたのは 2000 年 6 月 25 日です。

何よりも、9 期 25 年間、落選中も含め 30 年間、ご指導頂き、支えて頂いた、京都 6 区、京都南部の地元の方々に心より御礼申し上げます。

特に、私の活動を支えて下さっている支持者、ボランティアやスタッフの方々の並々ならぬご尽力と、私を応援して頂き、ご指導頂いている方々に、重ねて、厚く御礼申し上げます。

私の座右の銘は、「社会のぞうきんになれ！社会のぞうきんになって、社会をきれいにしなさい！」という仏教精神の洛南高校で、三浦俊良校長や担任の虎頭祐正先生から頂いた言葉です。この言葉を肝に銘じ、「福祉の山井」として、福祉を中心に国会で取り組んできました。

私が政治を志した原点は、学生時代に児童福祉施設で 6 年間、ボランティアをし、また、私の祖母が長年の寝たきりの末に亡くなったことです。

貧困や虐待に苦しむ子どもたち、また、寝たきりや認知症の高齢者、その介護者やご家族の方々の「声なき声」を、誰かが国会に届けないと、世の中は良くならない！と、政治を志しました。

民主党政権の時には、2009 年、2010 年、長妻昭厚労大臣のもと、厚生労働大臣政務官を務めさせて頂き、児童手当の中学 3 年までの延長や、「消えた年金」の被害者救済、障害者自立支援法の廃止と障害者総合支援法の成立などを実現できたことは、大きな思い出です。

また、議員立法による福祉の充実などに力を入れ、25 年間に 494 回の国会質問などをすると共に、145 本の議員立法を作成して国会に提出し、介護職員・障がい福祉職員処遇改善法、子ども貧困対策法や過労死防止法などを成立させることができました。昨年は、児童手当の高校 3 年までの延長を実現させ、今年は、がん患者の方々などの高額療養費引上げの凍結を実現することができました。

特に、被害者やご遺族、ご病気の方々、障がいのある方々、介護を必要とする方々など、当事者や弱い立場の「声なき声」を、国会で代弁し、与野党協力し、法案を成立させたり、予算を獲得することに力を入れてきました。これらの実現は、私の力だけでは到底無理であり、超党派の素晴らしい同志の議員、党職員、法制局や調査局を始めとする衆議院事務局のスタッフの方々、各府省の官僚の方々のおかげです。

さらに、地元については、「お茶振興法」の成立や、宇治茶や京野菜の振興、新名神高速道路の推進など、京都南部の活性化に取り組んできました。

これからも、「福祉の山井」として、弱い立場の方々や京都南部の住民の代弁者、僕（しもべ）として、全力で働かせて頂きます。以上、心からの御礼と決意とさせて頂きます』